



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 サイボー株式会社
コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 榮一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部財務部長 (氏名) 白田 浩二
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 048-267-5151

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,010	9.7	321	32.7	406	59.5	275	133.7
2023年3月期第1四半期	2,744	18.3	242	—	254	—	117	—

(注)包括利益 2024年3月期第1四半期 532百万円 (632.8%) 2023年3月期第1四半期 72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	20.85	20.84
2023年3月期第1四半期	8.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	42,404	18,467	38.3
2023年3月期	41,847	18,177	38.1

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 16,235百万円 2023年3月期 15,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2024年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,488	6.0	490	△4.2	503	△5.2	317	9.9	23.99
通期	10,810	6.2	1,054	△3.5	1,060	△10.7	680	△7.3	51.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	13,600,000 株	2023年3月期	13,600,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	384,042 株	2023年3月期	384,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	13,215,958 株	2023年3月期1Q	13,212,112 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の5類への移行もあり、経済活動は正常化に進み、日経平均株価はバブル崩壊後の高値更新をしましたが、原材料やエネルギー価格の高騰による物価上昇や、為替相場の変動等もあり、国内景気動向は依然として楽観できない状況が続いております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では、海外からの製品等仕入れにおいて、円安、原材料高の影響を受け、また、国内ではキャンプ関連商品の需要が減少傾向を見せるなど懸念材料はありますが、一方でプリント加工の新規事業が順調に推移するなど、取扱品により差が出た事業活動となりました。

不動産活用事業は、賃貸物件である、大型商業施設「イオンモール川口前川」、「イオンモール川口」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,010百万円（前年同期比9.7%増）となりました。営業利益は321百万円（前年同期比32.7%増）となり、経常利益は406百万円（前年同期比59.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は275百万円（前年同期比133.7%増）となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。

① 繊維事業

マテリアル部は、原糸販売が引き続き好調に推移したことに加え、三国間貿易による落ち綿販売を開始したことから、増収増益となりました。

アパレル部は、法人ユニフォーム直需の受注が増加したことから、増収増益となりました。

アウトドア部は、コロナ禍において急伸していたキャンプ関連需要が減少し、減収減益となりました。

刺繍レースを扱うフロリア㈱は、服地レースの売上が伸びたものの、付属レースの国内需要が落ち込み、減収となりましたが、販管費が減少したことから損失が縮小しました。

プリント加工品の製造・販売を行うサイボークリエイティブ㈱は、前第3四半期連結会計期間より事業を開始しておりますが、様々な分野より受注を得たことにより順調に推移し、業績に貢献しております。

また、前連結会計年度まで非連結子会社であった糸糊付加工を営む日宇産業㈱は重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

この結果、繊維事業の売上高は1,775百万円（前年同期比18.9%増）となり、営業利益は66百万円（前年同期比30.1%増）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」が近隣の大型商業施設に比べ回遊型ショッピングができるという、お客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されております。また「イオンモール川口」は、新しい社会環境にあわせ多様化するニーズに多様なコンテンツを備え近隣住民の新たな生活の一部として受け入れられており、両施設ともに売上及び収益の安定化に寄与しております。なお、前期においては商業施設のリニューアル工事に係る費用を計上したこともあり、営業利益は大幅に向上しております。

この結果、不動産活用事業の売上高は929百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は218百万円（前年同期比63.4%増）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、イベントの開催や新しい設備の導入、女性レッスンプロの活用等を図ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の分類の引き下げ等により、三密を避けられるスポーツとしての優位性が低下し、また天候不順の影響もあり来場者が減少し、減収減益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は244百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は23百万円（前年同期比43.7%減）となりました。

④ その他の事業

神根サイボー㈱のインテリア施工事業は、一般住宅施工が減少しましたが、大口物件が増加したことにより増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は301百万円（前年同期比41.7%増）、営業利益は23百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

資産は、前連結会計年度末に比べ556百万円増加して42,404百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少や有形固定資産の減価償却が進んだこと等による減少があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産や商品及び製品並びに投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ266百万円増加して23,936百万円となりました。これは主に長期借入金が減少したものの、支払手形及び買掛金や資産除去債務が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ289百万円増加して18,467百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ343百万円減少して2,327百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第1四半期連結累計期間に比べ1,266百万円減少して124百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加や未払又は未収消費税等の増減額が前第1四半期連結累計期間は還付でしたが、当第1四半期連結累計期間は納付になったこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ88百万円増加して117百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ484百万円減少して360百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,806,151	2,463,462
受取手形、売掛金及び契約資産	1,350,417	1,720,646
有価証券	188,229	122,260
商品及び製品	1,680,502	2,003,669
仕掛品	6,738	12,069
原材料及び貯蔵品	73,488	79,142
その他	175,840	203,590
貸倒引当金	△1,951	—
流動資産合計	6,279,416	6,604,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,962,371	21,773,496
土地	7,910,358	7,938,702
その他（純額）	384,024	438,728
有形固定資産合計	30,256,754	30,150,928
無形固定資産	7,201	5,249
投資その他の資産		
投資有価証券	4,944,205	5,322,972
その他	405,218	320,320
貸倒引当金	△44,829	—
投資その他の資産合計	5,304,593	5,643,293
固定資産合計	35,568,549	35,799,471
資産合計	41,847,966	42,404,313

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	670,429	826,328
短期借入金	300,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	1,068,940	1,075,096
未払法人税等	50,279	99,930
賞与引当金	53,176	26,573
役員賞与引当金	6,230	1,750
その他	702,885	777,576
流動負債合計	2,851,940	3,137,254
固定負債		
長期借入金	13,701,927	13,456,798
役員退職慰労引当金	265,201	203,738
退職給付に係る負債	182,145	185,684
長期預り保証金	5,584,844	5,586,073
資産除去債務	720,173	897,520
その他	363,883	469,751
固定負債合計	20,818,175	20,799,566
負債合計	23,670,115	23,936,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	825,348	825,348
利益剰余金	13,054,462	13,090,316
自己株式	△243,574	△243,574
株主資本合計	15,038,236	15,074,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	870,576	1,087,739
繰延ヘッジ損益	47,061	68,082
退職給付に係る調整累計額	5,007	5,701
その他の包括利益累計額合計	922,646	1,161,522
新株予約権	4,843	4,118
非支配株主持分	2,212,124	2,227,761
純資産合計	18,177,850	18,467,492
負債純資産合計	41,847,966	42,404,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,744,379	3,010,332
売上原価	2,185,154	2,311,489
売上総利益	559,225	698,842
販売費及び一般管理費	317,224	377,750
営業利益	242,000	321,092
営業外収益		
受取利息	322	236
受取配当金	53,187	50,083
持分法による投資利益	—	31,649
受取保険金	11,244	75,529
その他	17,241	25,505
営業外収益合計	81,996	183,004
営業外費用		
支払利息	26,588	24,871
持分法による投資損失	25,966	—
災害による損失	550	64,895
その他	16,112	7,992
営業外費用合計	69,217	97,759
経常利益	254,779	406,336
特別利益		
新株予約権戻入益	899	888
特別利益合計	899	888
特別損失		
投資有価証券評価損	22,857	—
特別損失合計	22,857	—
税金等調整前四半期純利益	232,820	407,224
法人税、住民税及び事業税	32,979	101,287
法人税等調整額	58,741	12,408
法人税等合計	91,721	113,696
四半期純利益	141,099	293,528
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,214	18,021
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,885	275,506

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	141,099	293,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116,775	186,401
繰延ヘッジ損益	53,510	21,020
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,132	31,802
その他の包括利益合計	△68,397	239,224
四半期包括利益	72,702	532,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,320	514,383
非支配株主に係る四半期包括利益	22,381	18,369

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	232,820	407,224
減価償却費	328,163	348,724
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,883	△2,035
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,174	△28,042
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,273	△4,480
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,694	3,439
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,052	△70,927
受取利息及び受取配当金	△53,510	△50,319
支払利息	26,588	24,871
持分法による投資損益 (△は益)	25,966	△31,649
売上債権の増減額 (△は増加)	△432,138	△354,535
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△223,953	△323,283
仕入債務の増減額 (△は減少)	192,840	151,609
未払又は未収消費税等の増減額	1,354,512	△180,307
その他	66,917	258,731
小計	1,488,621	149,019
利息及び配当金の受取額	53,738	50,547
利息の支払額	△26,588	△24,871
法人税等の支払額	△124,935	△50,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,390,835	124,392
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	-	13,355
有形固定資産の取得による支出	△52,023	△135,074
有形固定資産の除却による支出	-	△7,474
投資有価証券の取得による支出	△29,912	△12,962
投資有価証券の売却による収入	43,662	-
定期預金の増減額 (△は増加)	6,149	△1,050
貸付金の回収による収入	1,950	-
その他	1,067	25,999
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,107	△117,208
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	90,000	30,000
短期借入金の返済による支出	△560,000	-
長期借入金の返済による支出	△275,635	△268,774
配当金の支払額	△91,522	△104,629
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	874	-
その他	△5,656	△13,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△844,672	△360,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	2,113
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	517,056	△350,811
現金及び現金同等物の期首残高	2,426,675	2,671,046
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	7,073
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,943,732	2,327,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したことから日宇産業㈱を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

トヨタ東埼玉グループ㈱(旧㈱NTワークス)は、当社の持分法適用の関連会社であるネットヨタ東埼玉㈱との株式交換により、当第1四半期連結会計期間から持分法適用の関連会社としております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,491,950	857,345	261,037	2,610,332	134,046	2,744,379	—	2,744,379
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	70,361	—	72,461	78,528	150,990	△150,990	—
計	1,494,050	927,706	261,037	2,682,794	212,575	2,895,370	△150,990	2,744,379
セグメント利益	50,850	133,533	41,567	225,951	18,283	244,234	△2,234	242,000

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおりません。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,775,834	859,358	244,514	2,879,706	130,626	3,010,332	—	3,010,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	70,361	—	70,414	170,626	241,040	△241,040	—
計	1,775,887	929,719	244,514	2,950,121	301,252	3,251,373	△241,040	3,010,332
セグメント利益	66,159	218,258	23,422	307,840	23,081	330,921	△9,829	321,092

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インテリア施工事業を含んでおりません。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。